

夏季における熱中症予防対策について

令和4年6月30日

熊本市立秋津小学校

平素より、本校学校教育へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
さて、近年の夏季における猛暑日などの気候状況を考慮し、児童の熱中症予防対策について、以下の通りと実施することお知らせいたします。ご理解、ご協力の程よろしくお願いたします。

記

【マスク着用について】

文部科学省「学校生活における児童生徒等のマスクの着用について」(令和4年5月24日)には、マスク着用が不要な場面の例として、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時が取り上げられています。これらの場面においては、特に熱中症のリスクが高いことが想定されることから、熱中症対策を優先し、児童に対してマスクを外すように指導いたします。詳しくは裏面をご覧ください。

【水筒の中身について】

6月29日の安心メールで熱中症予防を目的として、児童が持参する水筒の中身について、お知らせいたしました。これまでは、水筒の中身は「水やお茶に限る」としておりましたが、「スポーツ飲料や経口補水液」もよいといたします。発汗が多くなりやすい季節ですので、学校の水道水以外にも必要な場合は「水・お茶・スポーツ飲料・経口補水液」の中から必要なものを水筒に入れてご持参ください。

【帽子の着用について】

登下校時に帽子を着用していない児童を多く見かけます。熱中症予防においては、涼しい服装や水分補給に加えて、日陰を利用したり、帽子を着用したりすることも有効です。児童の安全のために、帽子を着用して登下校を行うようお声かけお願いたします。

子どものマスク着用について



人との距離（2m以上を目安）が確保できる場合
においては、マスクを着用する必要はありません。
また、就学前のお子さんについては、
マスク着用を一律には求めていません。



就学児について

（小学校から高校段階）

マスク着用の必要がない場面

屋外

- ・人との距離が確保できる場合
 - ・人との距離が確保できなくても、
会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞離れて行う運動や移動、
鬼ごっこなど密にならない外遊び
- ＜例＞屋外で行う教育活動（自然観察・写生活動等）

屋内

- ・人との距離が確保でき、
会話をほとんど行わないような場合
- ＜例＞個人で行う読書や調べたり考えたりする学習



学校生活

屋外の運動場に限らず、

プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業や運動部活動、登下校の際

※運動部活動において接触を伴う活動を行う場合には、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう

※活動中以外の練習場所や更衣室等、食事や集団での移動を行う場合は、状況に応じて、マスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

高齢の方と会う時や病院に行く時は、マスクを着用しましょう。

保育所・認定こども園・幼稚園等の 就学前児について

2歳未満

マスクの着用は推奨しません。

2歳以上の就学前の子ども

他者との距離にかかわらず、マスク着用を一律には求めて
いません。マスクを着用する場合は、保護者や周りの
大人が子どもの体調に十分注意した上で着用しましょう。



気をつける
ポイント

▶ 夏場は、熱中症防止の観点から、マスクが必要ない場面では、
マスクを外すことを推奨します。

▶ マスクを着用しない場合であっても引き続き、手洗い、
「密」の回避等の基本的な感染対策を継続しましょう。

※その他地域の状況に応じて、講じられている対策がある場合、それを踏まえ対応をお願いします。

